

トラック・バスなどの大型車をご使用の皆さんへ

車輪脱落・火災防止のために しっかり点検・整備しましょう。

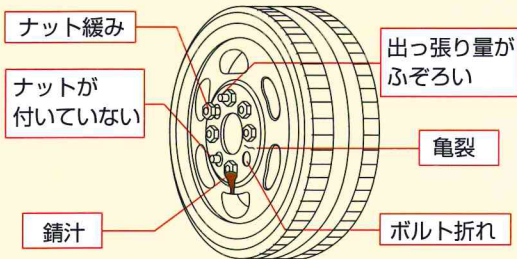
日常点検や定期点検をきちんと行っていますか？
日頃こまやかな点検を行っていれば、車輪脱落・車両火災などのほか
運転中のトラブルの多くは回避できます。
毎日安心して運転するために、しっかり点検しましょう。

大型車のホイール・ボルト関係の点検内容

日常点検

1日1回、運行前に日常点検を実施することになっています。乗用車と比べて走行距離も多いことから、クルマの健康状態をしっかりチェックし、事故を未然に防止するためにも日常点検を行いましょう。

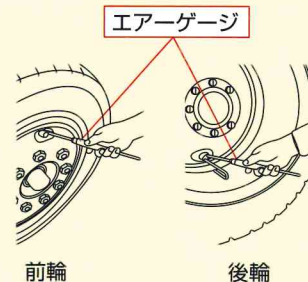
①目視での点検



②点検ハンマや小型ハンマを使用した点検



③タイヤ空気圧の点検



定期点検

定期点検には3か月点検と12か月点検があります。
事故を未然に防ぐためにもきちんと点検しましょう。

[3か月定期点検時] 日常点検に加え、トルクレンチなどを使用して、ホイール・ナットが緩んでいないか（規定の締付けトルクで締付けられているか）点検します。

[12か月定期点検時] ディスクホイールの点検は、ホイールを外して行います。
ホイール・ボルトやホイール・ナット及びハブなどの関連部品に異常がないかも点検します。

ホイール・ボルト折損による大型車の車輪脱落事故が増加しています！

大型車の使用者は、規定トルクでのホイール・ナット締付け等、適切な車両管理の徹底をお願いします。

このような事故が起きています。

大型自動車の車輪脱落事故

ボルトの折損を伴うタイヤの脱落事故は、平成15年1月以降、平成26年12月末までに412件発生しており、平成20年4月には、東名高速自動車道でボルト折損により脱落したタイヤが対向してきたバスに衝突し、バスの運転者が死亡した事故が発生しています。車輪脱落事故は、ナットが緩む、ボルトが折れる等、車輪脱落までには必ず予兆があります。日常点検や定期点検をしっかり行ってください。また、タイヤ交換時などの不適切な締付け（強すぎ、弱すぎ）や、誤ったボルト・ナットの使用（アルミホイール用、スチールホイール用の誤用）は、車輪脱落の原因となります。

